

# 日本橋丸上通信



株式会社 丸上

〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町4-14  
〔TEL〕03-3662-4416 / 〔FAX〕03-3666-2603

この通信に対するご意見お問い合わせは上達まで  
直接お願いいたします。

Tel : 070-5518-0156

Mail : isaojotatsu@marujo.jp

HP : <http://marujo.jp/>

Blog : <http://marujo.jp/president/>

Instagram : <https://www.instagram.com/nihonbashigonomi/>



VOL.52 平成31年1月発行 発行人/上達 功

新年あけましておめでとうございます。日本橋丸上三代目の上達です。早速ですが、今年はどんな年になるでしょうか？5月1日には平成も終わって新年号になりますし、10月には消費税の増税が予定されています。また、世界的にも大きな変化のある年になりそうです。そんな変化の時代に対応するために、日本橋丸上では本年度より新体制をとる事になりました。組織のテーマの一つは「世代交代」です。

まず、営業部長の松本進さんと須藤政人さんの二人を取締役にする人事を決定しました。そして藤井さん、伊藤さんにもそれぞれ経理部長、総務部長に就任いただき、健全で効率的なバックオフィスを構築していきます。そして大沼商品部長も含めこのような40代のメンバーが中心となり、未来に向けた取り組みができる会社にしていきます。

商品部ではこれまで大塚さんが染め物全般を担当していましたが、今年からフォーマルとカジュアルに分けて、新たに入社9年目の荒川さんが小紋・コート地の仕入れ担当となりました。また、この機会に本館2階をフォーマルのフロアとして訪問着と振袖。3階をカジュアルのフロアとして紬と小紋や染め帯などを展示する事にしました。加えて、2階の事務所を別館に移し売場の拡張をしました。是非ご来場いただき新しい売場をご確認ください！

また、販売部では、昨年4月入社室野さん米山さんが担当を持ち営業させていただく事になります。まだまだ未熟ですので、会社全体でフォローしながらお客様に貢献していきたいと思っております。二人とも爽やかなスポーツマンで気立てはいいので、業界の未来の為にもお客様の叱咤激励をお願いいたします！

一方で、ただ単に若返ればいいという訳ではない事も事実です。ですので、ミスター丸上船形専務を始めベテラン社員のメンバーにも引き続き頑張ってください、少しずつ、丁寧に丸上イズムを継承していきたいと考えております。

さて、着物業界としても今年はかなり変化が見込まれます。変化という言葉は英語で書くと“CHANGE”ですが、これにそっくりな単語が“CHANCE”です。変化に対しては誰しも怖さを感じたり、抵抗してしまう気持ちもわかりますが、日本橋丸上は変化を楽しみ、チャンスにできる会社になりたいと思っております。

今年も前向きに様々な事にチャレンジして、いのしし年だけに亥亥(いい)年にしていきたいと思っております。皆様のご協力、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

# 日本橋丸上通信



株式会社 丸上

〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町4-14  
〔TEL〕03-3662-4416 / 〔FAX〕03-3666-2603

この通信に対するご意見お問い合わせは上達まで  
直接お願いいたします。

Tel : 070-5518-0156  
Mail : isaojotatsu@marujo.jp  
HP : <http://marujo.jp/>  
Blog : <http://marujo.jp/president/>  
Instagram : <https://www.instagram.com/nihonbashigonomi/>



VOL.53 平成31年2月発行 発行人/上達 功

いつもありがとうございます。日本橋丸上三代目の上達です。暦の上では春とはいえ、まだまだ寒いですね。皆様も体調にはお気を付けてお過ごしください。

さて先月のことですが、大雪の米沢に行ってまいりました。目的は機屋さんの新年の集まりがあり、そこで業界の今後についての講演を依頼されたからです。この機会は野々花染工房の諏訪好風先生からの依頼がきっかけで、当初から3年に渡り米沢産地に訪問する約束で始まりまして。振り返ると第一回は2016年7月13日で、この時の様子については丸上通信の28号で報告させていただきました。また、2017年には丸上もお手伝いしている、呉服店後継者向け勉強会である、「きものの未来塾」のメンバーを米沢にお連れし、産地勉強会を兼ねて、産地と小売店様の交流を実現しました。そして今回は最終回ということで、どのようなことをお伝えするか本当に悩みました。

そこで最初の講演日2016年7月13日から今回の講演を開催した2019年1月24日までの日数を数えてみました。925日でした。この期間は一日一日の積み重ねでできています。それで今回はその間に丸上と米沢の機屋さんが何を考え、どんな行動を起こして、どんな状況になっているかの答え合わせをする機会にするのがいいだろうと思い準備しました。

2016年の講演の時に、僕は「呉服業界の2020年問題」というものを提言しました。それは東京オリンピックが開催される2020年を境に業界の激変が予想され、どのようなことが現実になるのか予測を発表しました。講演の前半は、あえてその3年前の資料をそのまま使用して、振り返りました。自分で言うのもなんですが、この時の予想は見事に当たっています。そこで、重要なのはその分かっていた未来現実を前提に何を実現してきたかです。

ちなみに丸上はこの925日間で人手不足を見込んで人材の採用と育成。より良い商品を作ってもらうために産地への取引条件の改善。また市場活性化のためのマーケティング機能の強化を実施したことを報告しました。

また、僕なりに重要だと感じてお伝えしたことは、①未来は変えられると信じる。②自分の強みを徹底的に分析する。③失敗してもいいから行動する。という三点です。

丸上は産地の方々が作ってくれる商品があってこそ存在価値が生まれます。今後もよりよい関係を築いてお互いが成長できるようにしていきます。また、今回の貴重な機会をいただきました米沢の皆様にご挨拶申し上げます。

日本橋丸上 上達 功

# 日本橋丸上通信



株式会社 丸上

〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町4-14  
〔TEL〕03-3662-4416 / 〔FAX〕03-3666-2603

この通信に対するご意見お問い合わせは上達まで  
直接お願いいたします。

Tel : 070-5518-0156  
Mail : isaojotatsu@marujo.jp  
HP : <http://marujo.jp/>  
Blog : <http://marujo.jp/president/>  
Instagram : <https://www.instagram.com/nihonbashigonomi/>



VOL.54 平成31年3月発行 発行人/上達 功

いつもありがとうございます。日本橋丸上三代目の上達です。もうすぐ春分ということでは東  
京はだいぶ春らしくなってきました。着物が一番気持ちいい季節の到来です。4月6日  
(土)には毎年恒例の隅田川きもの園遊会が今年も開催されるようです。お客様にキモノを  
着る機会として提案などされてはいかがでしょうか？

さて、今年も反物巻き選手権巻王(まきおう)が開催されました。2月に開催された東京大  
会では昨年惜しくも準優勝だった藍澤さんが、見事リベンジを果たし優勝！2位には和地さ  
んが入り丸上でワンツーフィニッシュを決め、二人が京都大会の出場権を獲得しました。

そして3月13日に開催された京都大会に出場しました！結果は和地さんが決勝トーナメ  
ントまで残りましたが、惜しくも敗退してしまいました(涙)。京都の壁は高かったです。

ただこの機会に今年も京都研修を実施できました。参加したメンバーは小俣さん、和地さん、  
日比野さんです。それと藍澤さんは親松さんと一緒に振袖の仕入れを行いました。僕と一緒に  
回った3人は、非常に熱心に知識を吸収しようと努力していたので、丸上の未来は明るい  
かな？と感じました。是非3人に京都での感想など聞いてみてください！また、3人による  
仕入れもしていますので、その商品も見ていただけるととっても嬉しいです！

今回、久しぶりに京都を回ったのですが、僕が感じた事はかなり生産状況が変化してきてい  
ることです。一番の変化は京都のメーカーの見込み生産が激減していることです。昔は京都  
を回ってれば比較的簡単に商品の調達ができましたが、今はメーカーとじっくり話し合っ  
て商品を発注する時代になりました。当然発注してから完成するまでの時間もかかりますし、  
このタイムラグからの機会損失も発生するかもしれません。また、このようになるともちろ  
ん仕入れにかかる時間も非常に長くなるので、商品部の出張日数が目に見えて増えています  
し、仕事の難易度も上がってきています。ただ考え方によっては、逆にこのような状況にな  
ると商品を作れる、持てる、集められる問屋とそうでないところの差は広がってきますし、  
オリジナリティも出しやすくなります。ですので、ある意味日本橋丸上にはチャンスでもある  
と思っています積極的に取り組んでいきたいと思います。

そして、もうすぐ今年も日本橋丸上最大の販売会である、「秋の呉選会」が近づいて参りま  
した！現在この発表会に向けて弊社の6人の商品仕入担当者が全国を回って商品を用意し  
ております。ぜひともこの機会にご来場いただき、厳選した商品をご覧ください！

上達 功

# 日本橋丸上通信



株式会社 丸上

〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町4-14  
(TEL) 03-3662-4416 / (FAX) 03-3666-2603

この通信に対するご意見お問い合わせは上達まで  
直接お願いいたします。

Tel : 070-5518-0156

Mail : isaojotatsu@marujo.jp

HP : <http://marujo.jp/>

Blog : <http://marujo.jp/president/>

Instagram : <https://www.instagram.com/nihonbashigonomi/>



VOL.55 平成31年4月発行 発行人/上達 功

いつもありがとうございます。日本橋丸上三代目の上達です。この通信がいよいよ平成最後の丸上通信です。皆様もご存知のように新年号は“令和”で、5月1日から令和元年です。今回の案内状にどうしても新年号を入れて印刷したかったのですが、入稿の日程的に間に合いませんでした。そこで僕が“令和”のスタンプを心を込めて製作して、封筒に押すようにしました！令和の新時代も日本橋丸上をよろしく願いたいします。

今年も5月の月初は東京で着物のイベントが盛りだくさんです。まずは“秋の呉選会”です。5月6日（日）から5月9日（木）まで浅草の台東館で開催させていただきます。丸上の精鋭6名の商品部がこの日のために全国の産地を回ってきました。今回も選りすぐりの新商品を発表させていただきます。全体的な生産減は否めませんが、だからこぞできるオリジナリティをお伝えしたいと思っております。

そして、5月2日（木）から5月6日（日）には、日本橋三井ホールにて“東京キモノショー”が開催されます。毎年1万人以上の方が来場しているキモノイベントですが、今回はキモノショーの名前にふさわしく、ファッションショー的な要素が充実しています。ちなみに6日は“秋の呉選会”の初日となりますので、ハシゴも可能です！この封筒に同封させていただきました公式ガイドブックをお持ちになると通常1400円の入場料が1000円に割引になりますので、ご活用ください（ガイドブック1冊につき2名様まで）。また、ガイドブックが追加で欲しい方は丸上までお問い合わせいただければ、提供させていただきます。

続きまして、5月6日に開催される問屋合同セミナーです。早いもので今年で6回目となります。今回のテーマはズバリ“18歳成人後の式典”についてです。昨年に成人年齢引下げの改正民法が成立し、2022年4月からの施行が決まりました。その後いくつかの自治体が現行通りの20歳での式典開催を表明しておりますが、依然として方向性を決めていない自治体も多く、予断は許されない状況です。そんな中少し心配なのは、業界内で情報共有ができていないことです。そこで呉服業界プロデューサーの石崎功氏に最新情報を取りまとめていただき、小売店様各社と情報共有をしたいと思います。また、セミナーに参加いただけない場合でも、浅草の会場にて最新情報に関する資料をお渡しさせていただきます。

今回はお伝えしたいことがたくさんで駆け足の内容になりましたが、最後にもう一つ！新元号に合わせて、丸上の女性社員の制服も変わります！来月は是非東京にお出かけください！

# 日本橋丸上通信



株式会社 丸上

〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町4-14  
〔TEL〕03-3662-4416 / 〔FAX〕03-3666-2603

この通信に対するご意見お問い合わせは上達まで  
直接お願いいたします。

Tel : 070-5518-0156  
Mail : isaojotatsu@marujo.jp  
HP : http://marujo.jp/  
Blog : http://marujo.jp/president/  
Instagram : https://www.instagram.com/nihonbashigonomi/



VOL.56 令和元年5月発行 発行人/上達 功

いつもありがとうございます。日本橋丸上三代目の上達功です。

先日は浅草台東館にて開催いたしました「秋の呉選会」に多くのお客様にご来場いただきまして、誠にありがとうございます！おかげさまで丸上にとって令和最初の売出が無事開催できまして、少しホッとしています。また、何かと行き届かない点があったと思いますが、アドバイスなどございましたら、ご指導ご鞭撻いただけますようお願いいたします。

さて、会場でお気付きになった方もいらっしゃるかと思いますが、このたび5月をもって弊社女性社員の制服をリニューアルいたしました！これまで使っていた制服が廃盤になることもあり、元号の変わるタイミングに合わせての変更です！これまでの制服は、男性社員が勝手に選定したものでしたが、今回は丸上も女性が活躍する会社にしていきたいと考えて一工夫したいと思いました。そこで、職種や立場の違う女性社員を選定して、何度も議論を重ねてもらい、自分たちで制服をデザインすることをお願いしました。もちろん制服の会社の方が外部から参画いただいて、会議を進行してもらい、これまでにはないコンセプトの打ち合わせが開催できました。その結果丸上のイメージカラーの藍色を基調とし、赤いポイントを入れた制服になりました。ちなみにブラウスはかすみ草をイメージしております。毎日着るものですから、自分たちで選んで納得したものを着た方がいつも楽しいと思いますし、やる気も出ると思います！まだご覧になっていないお客様がいらっしゃいましたら、丸上にご来店いただき是非ともご確認ください。

話は変わりますが、今年は新卒社員を頑張って4名採用しました！男性は香取さん、嶋さん、高橋さん、女性は新井さんです。まだまだ未熟ですが、呉服業界に希望を抱いて入社してくれたメンバーなので、業界の未来の為に皆様からのご指導をよろしくお願いいたします。

実は制服の件と若手の採用には共通した目的があります。それは、令和の時代の組織は社員みんなから意見が出て、採用・実行できる会社になりたいということです。そのためにも若い人材の比率を増やし、全体の環境整備が必須になってきますが少しずつ準備してまいります。

さて、来月は6月3日(月)～5日(水)の三日間京都で売出を開催します。場所は丸池藤井さんのビル3階で、京都では早くも3回目の開催となります。また、東京でも6月3日(月)、4日(火)の二日間初夏彩展を本社で同時開催いたします。浅草にお越しいただいたお客様もお越しいただけなかったお客様も是非お出かけください。

上達 功

# 日本橋丸上通信



株式会社 丸上

〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町4-14  
〔TEL〕03-3662-4416 / 〔FAX〕03-3666-2603

この通信に対するご意見お問い合わせは上達まで  
直接お願いいたします。

Tel : 070-5518-0156  
Mail : isaojotatsu@marujo.jp  
HP : <http://marujo.jp/>  
Blog : <http://marujo.jp/president/>  
Instagram : <https://www.instagram.com/nihonbashigonomi/>



VOL.57 令和元年6月発行 発行人/上達 功

いつもありがとうございます。日本橋丸上三代目の上達功です。関東地方は6月7日に梅雨入りし、傘が手放せない季節になりましたが、皆様いかがお過ごしですか？

さて、先日開催いたしました「京都呉選会」にはたくさんのお客様にご来場いただきましてありがとうございました。今年で3回目の開催となりましたが、「石の上にも三年」ということで、数年前には想像もしなかったことが目の前で起きている会場を拝見して、努力の継続の大切さを実感しました。来年も頑張りますのでよろしくお願いいたします。

さて突然ですが、日本橋丸上ではこの度別館4階を全面的に改装することにしました。改装の理由は「小売店様の実店舗の機能がお客様の集う場所になりつつあるのに、問屋はこのままでいいのか？」と考えたからです。入って右側にはきちんとした茶道のできるスペースを作り、左側には板の間を作って最近要望の多い写真撮影をしやすい空間にする予定です。もちろんトイレもピカピカにして、日本橋の多目的スペースとして活用していきます。

お茶のスペースについては、東京キモノショーなどでお世話になっている裏千家星霜軒の吉森先生、松浦先生にアドバイスをいただきました。経験豊富なご夫妻にお話を伺うと自分の知識の浅さを身に染みて感じました。これを機会に少しずつお茶の勉強もしていきたいと思えます。丸上でも社員研修の一環として茶道部みたいなことができればと考えています。一緒にお茶を始めようと思われる方がいましたら、遠慮なく上達までご相談ください。

なお、主な使い方としては、一番はメーカーさんの東京売出会場です。また来年には東京オリンピックもありますので、日本橋で販売会をしたいという小売店様への貸し出しやイベントでの使用も考えています。それと当然丸上も売り場として使用します。丸上のすぐそばでホテル建設が始まったり、会社付近の街並みもどんどん変わってきていますので、そのうちに考えもしなかった面白い使用方法も生まれるかと思えます。何かアイデアがございましたら、ぜひご教授ください！

と妄想を膨らませていた矢先に大問題が発生しました！なんとこのところ在庫過多で工事期間中に商品をストックするスペースが足りないと言われました！そこで7月初の売出は例年以上に気合いを入れる必要が出てきましたので、別館改装の為在庫一掃セール 半期決算市というタイトルで開催いたします！処分品やB反をたくさん用意します。どうか助けてください（笑）！皆様のご来場をお待ちしております！

上達 功

# 日本橋丸上通信



株式会社 丸上

〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町4-14  
(TEL) 03-3662-4416 / (FAX) 03-3666-2603

この通信に対するご意見お問い合わせは上達まで  
直接お願いいたします。

Tel : 070-5518-0156  
Mail : isaojotatsu@marujo.jp  
HP : <http://marujo.jp/>  
Blog : <http://marujo.jp/president/>  
Instagram : <https://www.instagram.com/nihonbashigonomi/>



VOL.58 令和元年7月発行 発行人/上達 功

いつもありがとうございます。日本橋丸上三代目の上達功です。

さて先日のごとですが、丸上の営業日に毎日更新しているブログの投稿が1,000回目を迎える事ができました！2015年5月28日に「社長日記始めます」という投稿を開始してから、約4年間1日も休まずに達成する事ができました！僕の長所の一つはやると決めたら必ずやる事ができることです！中学・高校も無遅刻無欠席でしたし、学生時代は筋トレを1日もさぼらずにやっていました。今回の丸上通信ではブログを継続している理由について書いてみたいと思います。

まず、一つ目はお客様や仕入先様とのタッチポイントをできるだけたくさん作ることです。情報量が爆発的に増加した現在、より大切になるのは人と人との繋がりです。そのためには自分がどんなことを考えているのか、どんなことをしているのかを知っていただけることがとても重要です。僕の考えや丸上の方針を理解いただいて、一緒に行動できる方が増えることは素晴らしいことだと考えています。

2つ目は社員に伝えることです。ブログは世間にはもちろんですが、社内向けにいても情報を伝えていくことができます。僕は常々長期的視点の大切さを社員に伝えていますが、僕自身が継続的な行動をしていることを示してきました。おかげで昨年からは開始したInstagramはみんなの力で毎日休まず運用してもらって効果が少しずつ出てきました。

またブログを続けていると観察力も身に付きます。毎日更新するのはかなり大変ですが、一番の課題はネタ探しです。常にいろいろな物事に興味を持つことで、観察力や想像力を磨くことができました。令和の時代はAIにはできないこのような能力がとても大切になります。

最後は親孝行です。僕は家ではほとんど話さないタイプでしたし、結婚してからほとんど実家の両親には何も報告しなかったのが、ちゃんと仕事をしているのがずっと心配をかけてきました。毎日前向きに仕事に取り組んでいることを少しでも伝えられればいいかと思ってブログを書いています。父は2年前に他界しましたが、毎日楽しみにしてくれていたもので、これが僕にとっての最後の親孝行でした。

ブログをやっていたおかげで新しい出会いや信じられない出来事がたくさんありました。また、行動する事で新しい気づきも生まれます。“行動すること”と“継続すること”を意識してこれからも頑張っていこうと思います。

上達 功

# 日本橋丸上通信



VOL.59 令和元年8月発行 発行人/上達 功

株式会社 丸上

〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町4-14  
〔TEL〕03-3662-4416 / 〔FAX〕03-3666-2603

この通信に対するご意見お問い合わせは上達まで

直接お願いいたします。

Tel : 070-5518-0156

Mail : isaojotatsu@marujo.jp

HP : <http://marujo.jp/>

Blog : <http://marujo.jp/president/>

Instagram : <https://www.instagram.com/nihonbashigonomi/>



いつもありがとうございます。日本橋丸上三代目の上達功です。今年の東京は梅雨が明け  
るまでは、雨や曇りが多く過ごしやすかったのですが、梅雨明けと同時に一気に猛暑となり  
ました。8月は焦らずに水分補給を意識しながらゆっくり過ごしていきたいと思います。

さて先日はその猛暑の中、新入社員と群馬県に新人研修に行ってきました！これは丸上の  
伝統行事とも言えるもので、僕が入社した当時は船形専務に連れて行ってもらったことを覚  
えています。新人教育はとても大切なので、ここ数年は僕自らが担当しています。

コースはだいたい決まっています、最初は織物参考館・紫（やかり）に行きます。ここは昔  
の織物工場を改修した博物館です。非常に原始的なおもり機から、地機・高機・ドビー織機・  
ジャカード織機など織物の歴史について学べます。この他にも八丁襷系機や、養蚕に関する  
資料などもあり、絹織物の全体を学ぶにはとても便利な場所です。また、藍染体験もできま  
すので、木綿のハンカチで簡単な絞り染体験をしてもらいます。

次に向かったのは、現在では群馬県唯一の着物メーカーとなった泉織物様です。こちらで  
は実際に商品を生産している現場を勉強させて頂きました。染めから、糸の説明、絞り染め  
の加工、ジャカードで実際に生地を織っているところ、八丁襷系機などを見学してから、最  
後に最新の商品勉強をしました。毎年泉太郎社長には熱心に若手育成をしてもらっています。  
新入社員には今後一生懸命泉さんの桐生織を販売して恩返しするよう指導しておきました。

その次に県内の小売店様を訪問して、勉強させていただきました。こちらの小売店様は以  
前「群馬に研修に行きます！」とフェイスブックに投稿したら、だったらうちに寄って勉強  
していきなさいとご提案いただき、それから毎年訪問させていただいております。この日は  
ちょうど催事の準備の日で、小売店様のお仕事と先輩の働きぶりを勉強しました。

夜は東京に戻って焼肉屋さんで懇親会です。飲んでいて驚いたのですが、ある新入社員の  
ご両親と僕が同世代だということを知りました！気持ちだけは若いのですが、僕も今月で  
44歳！少し感慨深い物があります。白髪が増えたので、この似顔絵もそろそろ変えないと。。

このようにならかなり内容の濃い1日を過ごしました。最近、様々な業界で人材不足を言われ  
ていますが、日本橋丸上としてはじっくり時間をかけて人材を育てていきたいと思っていま  
す。何故ならば人こそが丸上の強みだからです。だから今後も積極的に新人を含め若手社員  
と関わり、みんなが成長し、活躍できるよう精一杯頑張っていきたいと思います。 上達功

# 日本橋丸上通信



株式会社 丸上

〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町4-14  
〔TEL〕03-3662-4416 / 〔FAX〕03-3666-2603

この通信に対するご意見お問い合わせは上達まで  
直接お願いいたします。

Tel : 070-5518-0156

Mail : isaojotatsu@marujo.jp

HP : <http://marujo.jp/>

Blog : <http://marujo.jp/president/>

Instagram : <https://www.instagram.com/nihonbashigonomi/>



VOL.60 令和元年9月発行 発行人/上達 功

いつもありがとうございます。さて、この丸上通信も今回で記念すべき60号目となり、これでまる5年間休まず続けることが出来ました！始めるときはネタ切れをかなり心配しましたが、これまでそれほど書く内容に困ることはなかったです。それだけ、この5年間いろんなことにチャレンジできたのかなと思います。逆に丸上通信を書かなければいけないから、様々な挑戦をしたのかもしれない。

昨年の9月から開始しました“日本橋好み”のサイト (<http://marujo.jp/nihonbashi/>) もあっという間に1年間が過ぎ、すでに50以上のコーディネート提案をさせていただきました。そこで、今回は総集編ということで、“日本橋好み 装いコレクション”というブックを製作しました。こちらは、Instagramで人気のあったコーディネートを中心に社内でセレクトしてみました。これまでの写真と文章があったので効率的に作ることができました。僕は子供の頃、週刊少年ジャンプをよく読んでいましたが、その単行本を作るようなイメージです。積み重ねたデータは、ただ流れていってしまうわけではなく、ノウハウの蓄積ができ、会社の資産として貯めていくことができます。そんなことを気づかせてくれました。今回の案内状に同封しておりますので、是非ご覧いただき、ご活用ください。

さて、9月に入りまして、だいぶ過ごしやすくなりました。いよいよ秋の着物日和のスタートです！日本橋丸上では9月25日（水）から10月3日（木）まで“大躍進展”を開催いたします！例年通り本社で開催する最大の売り出しとなります。今年の6月号の丸上通信でも書きました別館4階の改装工事も完了し、そのお披露目となります。このスペースでは、今回はつむぎを中心に選りすぐりの商品を中心に展示するよう準備中です。

ちなみに茶室の庵号は“上達庵”にすることにしました。これはアドバイスをいただいている松浦先生と考えました。まず、今回のコンセプトと“上達”という言葉がすごくマッチしているからです。“上達”には「技能が進んで、うまくなること。」という意味の他に論語では、「いいライバルを互いに成長していく人間関係」というものも出てきます。“達”には「道が通ずる。どこまでも行き得る。」という意味があり、日本の交通網の中心である日本橋のイメージにも当てはまります。また、調べてみると今年は丸上の創業者である上達次郎さんの生誕111年という節目の年でした。自分で言うのも変ですが、実は上達ってすごく縁起のいい名前なんです！皆様、是非ご来店いただき、新しい丸上をご覧ください！

上達 功

# 日本橋丸上通信



株式会社 丸上

〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町4-14  
〔TEL〕03-3662-4416 / 〔FAX〕03-3666-2603

この通信に対するご意見お問い合わせは上達まで  
直接お願いいたします。

Tel : 070-5518-0156  
Mail : isaojotatsu@marujo.jp  
HP : <http://marujo.jp/>  
Blog : <http://marujo.jp/president/>  
Instagram : <https://www.instagram.com/nihonbashigonomi/>



VOL.61 令和元年10月発行 発行人/上達 功

こんにちは、日本橋丸上三代目上達功です。先日は弊社にて開催させていただきました“大躍進展”に本当に多くのお客様にご来場いただきまして誠にありがとうございました。また、改装いたしました別館についてもたくさんのご意見、ご評価をいただき、今後が楽しみです。社内では工事前に本当にこれだけの投資をすべきなのかという議論もありましたが、新しくなったスペースを目の前にするとたくさんアイデアが湧いてきました。リスクを恐れ、頭の中でシュミレーションするだけでは、ものごとはなかなか前に進みません。走りながら考えるような形で、スピード感を持って実行する丸上であり続けたいと思います。

さて、今年の5月から東京織物卸商業組合の理事と和装部会の副部長に就任しました。これまであまり組合活動はしてきませんでした。今後は和装業界全体に貢献することと、個人的にはフォーマル需要の復活に力を入れていけたらと思っています。

ファッションの世界だと2割の「能動的な消費者」と8割の「受動的な消費者」に分けられるそうです。「能動的な消費者」は簡単にいうとファッションに関心が高い消費者です。最近には特にこの能動的なおしゃれな方が着物を購入、着用する傾向が強くなってきていますが、和装業界として残りの8割の方々にどのような接点があるのでしょうか？

昔は日本人の通過儀礼では、着物を着る事が当たり前でした。今の時代を昔に戻すことはできませんが、「人生の節目の機会でちゃんとした着物を着るとすごくいい気分になれますよ！」という情報発信を業界としてもう少しやった方がいいと考えています。

業界の中では、そんなことみんな知っているはずだと思っている方もおられるかもしれませんが、異業種から来た僕からすると若い世代のほとんどの人がこの事をわからなくなっているのではないのでしょうか？少なくとも通過儀礼の時に、着物の事を思い出してもらう環境を醸成しなければ、絶対に着物を着ていただくことはできないと思うのです。どのような規模や方法で展開するかは別として、フォーマル着物の情報発信について考えてみます。

それと博多織工業組合と東京の組合で作っている東京筑紫会の幹事長にもなりましたので、来月は博多織求評会に行ってきます。博多は18年前に職人を育成するデベロップメントカレッジを作り、若い職人さんが多い産地で、常に活気のあるものづくりをされています。その新作の発表の場が求評会です。皆様も弊社担当営業にご相談いただき、是非とも博多にもお出かけください。

上達 功

# 日本橋丸上通信



株式会社 丸上

〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町4-14  
〔TEL〕03-3662-4416 / 〔FAX〕03-3666-2603

この通信に対するご意見お問い合わせは上達まで  
直接お願いいたします。

Tel : 070-5518-0156  
Mail : isaojotatsu@marujo.jp  
HP : <http://marujo.jp/>  
Blog : <http://marujo.jp/president/>  
Instagram : <https://www.instagram.com/nihonbashigonomi/>



VOL.62 令和元年11月発行 発行人/上達 功

こんにちは、日本橋丸上三代目上達功です。東京は11月に入ってから、めっきり秋らしくなってきました。空気がすごく乾燥して来ているので、インフルエンザなどにかからないようしっかり予防をしていきたいと思います。

さて私事ですが、先月から着物の着用頻度を増やしてみました。1年365日を着物にするというわけではなく、無理のない範囲で着れるだけ着ていきます。今までは、何かある日に着物を着ていましたが、これからは逆に特別な事がない日は着物を着るようにしていこうと思います。

こうしようと思った理由はいくつかあります。一つ目は、僕はいろいろな業種の方とお会いする機会がたくさんありますので、着物を着ていればすぐに職業を知ってもらえます。これからはパーソナルブランディングの大切な時代になると思うので、その時に着物ってすごく便利なものだと感じました。それと、着物で電車に乗ったりすると多くの人に着物姿を見ていただけるので、着物のPRになります。

次に業界内で、産地の後継者不足や厳しい状況がよく話題になりますが、これを改善する第一歩は業界の人間が率先して着物を買って着ていくことかと考えました。これから産地に行き気になったものがあれば、どんどん買っていきこうと思います。また日本橋丸上の場合、仕入先が非常に多いので、様々な産地の着物を実際に自分が着てみて、それぞれの違いをちゃんと伝えられるようになりたいとも思います。

しかし、着物生活を始めようとする、改めてたくさんの着物や小物が必要な事に気づきます。9月末に消費税増税前の駆け込み需要を期待しましたが、まさか自分が駆け込み購入でたくさん買うことになるとは予想もしませんでした(笑)。

そんな中、先日札幌に出張しましたが、自宅から着物で行きました。以前はスーツケースに着物を入れて行って、現地で着替えていましたが、今回は本当に荷物が少なくすんで楽ちんでした。羽織はスーツケースに入れて、片ばさみで帯を結ぶとエコノミークラスでも全く問題なかったです。それと羽田空港では、外人にすごくウケました!

まずは無理なく着物を楽しむことから始めていこうと思います。皆様からのアドバイス、ぜひよろしくお願いいたします。さて、今年も残すところあとわずか。来月はいよいよ丸上名物の決算市を開催します。皆様のご来場をお待ちしております。

上達 功

# 日本橋丸上通信



株式会社 丸上

〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町4-14  
〔TEL〕03-3662-4416 / 〔FAX〕03-3666-2603

この通信に対するご意見お問い合わせは上達まで  
直接お願いいたします。

Tel : 070-5518-0156  
Mail : isaojotatsu@marujo.jp  
HP : <http://marujo.jp/>  
Blog : <http://marujo.jp/president/>  
Instagram : <https://www.instagram.com/nihonbashigonomi/>



VOL.63 令和元年12月発行 発行人/上達 功

いつもありがとうございます。日本橋丸上三代目上達功です。早いものでこれが今年最後の丸上通信になります。今年も休まずに継続できた事を嬉しく思います。

さて、今年から東京の組合と博多の組合とで作っている東京筑紫会の幹事長をやっていますので、先月“第117回博多求評会”に行ってきました！場所は博多織発祥の地である承天禅寺で、野点でお茶をいただけたりして、とても趣があり由緒あるお寺でした。

僕は今年初めて審査員として参加しました。人形師の中村信喬先生が審査委員長を務めてくださり、審査を進めましたが、中村先生は日本工芸会の理事をなさっているだけあって、これまで僕が経験した審査とは違った方法で行いました。理由はただ票数だけで審査しては平均的なものが評価されてしまい、本当にいいものが選ばれないという考えがあるからだそうです。約1時間半かけて何度も投票を繰り返し、じっくり審査を行いました。このような経験は初めてでしたので、とても楽しかったですし、勉強になりました。そして、“内閣総理大臣賞”、“文部科学大臣賞”、“経済産業大臣賞”を決定しました。また、僕個人で決められる“東京筑紫会賞”も決めて参りました。これらの商品については来年1月の売出しで発表するので、是非ご来店ください。

今回の博多出張ですが、一番勉強になったのは博多織デベロップメントカレッジ設立の苦勞を聞けた事です。博多織DCとは今から13年前に設立された、博多織の後継者を育成する為の学校です。現在の博多織工業組合の代表理事である寺嶋さんが中心となって作られましたが、まずは資金集めに苦勞されたそうです。僕はてっきり国からの助成金などで運営されていると考えていましたが、全く違いました。寺嶋さんの何としても博多織の伝統を後世に残したいという情熱のもとに、九州に本社を置く大手企業に何度も何度もお願いして設立資金を募ったそうです。そして資金の準備が整うと、今度は学校運営やカリキュラムを作るノウハウがなかったので、地元の学校を回り色々勉強をされて今の形になったそうです。

この努力のおかげで今は博多は若い職人さんがたくさん頑張っている産地になりました。求評会会場にある作品に新鮮な商品が多いのもこのような後継者育成の努力の賜物だと思います。僕は“できないことはしょうがない。”と諦めてしまう事が多いのですが、やっぱり情熱を持って“どうしたら実現できるかを考え、行動する事。”の大切さを痛感いたしました。来年も博多に訪問できることを楽しみにしております！

上達 功